
仮面ライダーwish

北の海人

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

仮面ライダーwish

【Nコード】

N6717Q

【作者名】

北の海人

【あらすじ】

仮面ライダーオーズ達が戦っている裏で活躍するもう一人の仮面ライダーのお話。

彼の名は、

仮面ライダーwish

仮面ライダーシリーズの二次創作です。

序章

序章

無謀 - 憧れ

時は2011年。

仮面ライダーオーズとバースが日本を守っている裏では、
もう一人のライダーが戦っていた。
彼の名は、

仮面ライダーwish

.....

「仮面ライダーWか...」

俺は初めて仮面ライダーとやらを見た。

格好いいと思った。

だが、仮面ライダーの中には人が入っていることを知っていた。

一般的には、スーツアクターと呼ばれる男。

だが、俺はなりたかった。

中の人で無く、

『仮面ライダー』

そう呼ばれる男に…

第一話（前書き）

第一話

石・ベルト

ある日の平凡な朝、

いつものように朝飯を食べ、いつものように朝の散歩をし、いつものように帰ってきて、いつものように部屋にこもる。

そして、夜になると家を出る。

散歩に行く。

行き着けの所に行くためだ。

そこは、いつも石が落ちてある。

とてもきれいな石が……

そこに着いた。

あたりを見渡し、
きれいな石を探す。

「しかし今日は、ずいぶんときれいな石があるなあ……」

手にとってよくみたら、美しい円の形をしていた。

そして、文字が刻印されていた。

一つが

「右」「石」

もう一つが

「左」「石」

「こんな石、見たことねえ……！」

言い忘れていたが、俺は石マニアだ。

いい石はだいたいここで取る。

………

気が付くと、

あたり一面全て

さっきの石だった。

「……ウツヒョー！！大量だ！とれるだけ取る！！！」

俺は、両手に持った、大袋とリュックサックにその石を詰め込んで家に帰った。

家に帰ると、もう深夜三時だということに気づいた。

「もう寝よ……」

石をベッドの隣に置いて、

俺は眠りに着いた。

第一話

序章

無謀 - 憧れ

時は2011年。

仮面ライダーオーズとバースが日本を守っている裏では、
もう一人のライダーが戦っていた…
彼の名は、

仮面ライダーwish

………

「仮面ライダーWか…」

俺は初めて仮面ライダーとやらを見た。

格好いいと思った。

だが、仮面ライダーの中には人が入っていることを知っていた。

一般的には、スーツアクターと呼ばれる男。

だが、俺はなりたかった。

中の人で無く、

『仮面ライダー』

そう呼ばれる男に…

第一話（後書き）

次の日の朝、

.....

俺は.....

..... 驚愕した.....

気付くのが遅かったようだ。

4つの石が変色していた。

きれいに分かれて.....

「右」が刻印されていた石は、「赤」「黄」と変わり、
「左」が刻印されていた石は、「青」「緑」と変わっていた。

そして、

浮いていた。

しかし、俺は冷静だ。

落ち着いてよく見ると、石達は何かを囲んでいた。

「……ベルト……？」

つづく

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6717q/>

仮面ライダーwish

2011年2月6日19時30分発行